

第11回放射性医薬品・画像診断薬研究会

開催日 平成23年12月3日(土) 9:00開場
場所 京都テルサ/京都府民総合交流プラザ
〒601-8047 京都市南区九条通新町下ル
TEL: 075-692-3400 (代表) FAX: 075-692-3402

<プログラム>

開会挨拶 9:25 ~ 9:30

佐治英郎 (京都大学大学院薬学研究科)

セッション1

座長: 河嶋秀和 (国立循環器病研究センター研究所)

淵上剛志 (長崎大学医歯薬学総合研究科)

A-1 9:30 ~ 9:45

C-ODTAの合成法の開発と¹¹¹In標識薬剤としての基礎的評価

鈴木博元、金井彩香、上原知也、花岡宏史、荒野 泰
(千葉大院薬)

A-2 9:45 ~ 10:00

チミジンホスホリラーゼイメーキング剤
[¹²³I]5-iodo-6-[(2-iminoimidazolidinyl)methyl]uracilの開発: 血漿タンパク結合と
I-123標識合成検討

西嶋剣一¹、越田早織²、趙 松吉¹、秋澤宏行³、大倉一枝³、松本博樹⁴、久下裕司^{1,2}
(¹北海道大学大学院医学研究科、²北海道大学創成研究機構、³北海道医療大学薬学部、⁴日本メジフィジクス株式会社)

A-3 10:00 ~ 10:15

不安定性動脈硬化核医学分子イメージングのための酸化LDL結合Asp-Hemolysin
誘導ポリペプチドの開発

依田敬子、天満 敬、西郡寛太郎、小野正博、佐治英郎
(京大院薬)

A-4 10:15 ~ 10:30

VACHT イメージング用新規プローブの合成とその評価

鶴野いずみ¹、小阪孝史¹、北村陽二¹、小川数馬²、川井恵一²、絹谷清剛²、柴 和弘¹
(¹金沢大学・学際科学実験センター、²金沢大学大学院・医薬保健研究域)

A-5 10:30 ~ 10:45

¹²⁵I 標識環状ペプチド Sansalvamide A 誘導体の合成と評価

渡辺茂樹¹、山田圭一²、花岡宏史³、大島康宏¹、津久井匠隆²、高野智香子²、山口藍子⁴、奥 浩之²、
飯田靖彦⁴、遠藤啓吾⁴、石岡典子¹

(¹原子力機構・量子ビーム、²群馬大工、³千葉大薬、⁴群馬大医)

【休憩】 10:45 ~ 11:00

セッション2

座長：吉本光喜（国立がん研究センター研究所）

小川数馬（金沢大学大学院薬学系）

B-1 11:00 ~ 11:15

[^{99m}Tc]MAMA 導入キナゾリン誘導体の合成と基礎的検討

平田雅彦¹、吉本光喜²、小川美香子³、間賀田泰寛³、大桃善朗¹

(¹大阪薬科大学、²国立がんセンター研究所・癌予防基礎プロジェクト、³浜松医科大学・メディカルフォトンクス研究センター)

B-2 11:15 ~ 11:30

低酸素還元を利用した新規メタボリックトラップ型 ^{99m}Tc 標識プローブの合成と評価

木村禎亮、梅田 泉、藤井博史

(国立がん研究センター東病院臨床開発センター機能診断開発部)

B-3 11:30 ~ 11:45

混合配位子多価 ⁶⁸Ga 錯体を利用した PET プローブの新規開発

六川武美、Guerra Gomez Francisco L.、花岡宏史、上原知也、荒野 泰

(千葉大院薬)

B-4 11:45 ~ 12:00

ケモカイン受容体 CXCR4 を標的とする放射性ガリウム標識マルチメリックペプチドの開発

久田隼人¹、佐野紘平^{1,2}、増田 亮¹、大石真也¹、下川研太²、藤井信孝¹、佐治英郎¹、向 高弘^{2,3}

(¹京大院薬、²九大院薬、³神戸薬科大学)

【昼食】 12:00 ~ 13:30

セッション 3

座長： 西嶋剣一（北海道大学大学院医学研究科）
木村寛之（京都大学放射性同位元素総合センター）

C-1 13:30 ~ 13:45

陳旧性心筋梗塞モデルミニブタの作製と $[^{15}\text{O}]\text{H}_2\text{O}$ を用いた病態評価

河嶋秀和¹、越野一博¹、福田 肇¹、橋川美子¹、樋掛正明¹、石兼 真²、銭谷 勉¹、池田智明²、飯田秀博¹

(¹国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部、²国立循環器病研究センター研究所 再生医療部)

C-2 13:45 ~ 14:00

緑茶カテキンの体内動態 PET 解析

清水広介¹、浅川倫宏²、菅 敏幸²、山田静雄³、原田典弘⁴、塚田秀夫⁴、奥 直人¹

(¹静岡県大薬・医薬生命化学、²静岡県大薬・医薬品製造化学、³静岡県大薬・薬物動態学、⁴浜松ホトニクス(株) PET センター)

C-3 14:00 ~ 14:15

ラットにおける F-18 FBPA の全身分布：PPIS による解析

花岡宏平¹、渡部直史¹、仲 定宏¹、金井泰和²、大田洋一郎³、渡部浩司²、磯橋佳也子¹、加藤弘樹¹、巽 光朗⁴、下瀬川恵久¹、切畑光統³、畑澤 順¹

(¹大阪大学大学院医学系研究科核医学講座、²大阪大学大学院医学系研究科医薬分子イメージング学講座、³大阪府立大学分子動態イメージング学講座、⁴大阪大学医学部附属病院)

C-4 14:15 ~ 14:30

オンカラム法を用いた $[^{11}\text{C}]$ メチオニンの製造-液相法 $[^{11}\text{C}]$ メチルトリフレートによる検討-

阿保憲史^{1,2}、西嶋剣一¹、渡辺利光³、加藤 潤³、玉木長良¹、久下裕司^{1,4}

(¹北海道大学大学院医学研究科、²住重加速器サービス(株)、³住友重機械工業(株)、⁴北海道大学アイソトープ総合センター)

C-5 14:30 ~ 14:45

$[^{11}\text{C}]\text{N}$ -Methyl-SSR504734 の脳内 glycine transporter 1 を標的とした PET イメージング剤としての有用性評価

淵上剛志^{1,2}、高野晶寛³、Balazs Gulyas³、Zhisheng Jia³、Sjoerd J. Finnema³、Jan D. Andersson³、間賀田泰寛²、原武 衛¹、中山守雄¹、Halldin Christer³

(¹長崎大学 医歯薬学総合研究科、²浜松医科大学 メディカルフォトンクス研究センター、³Department of Clinical Neuroscience, Karolinska Institutet)

【休憩】 14:45 ~ 15:00

セッション 4

座長： 平田雅彦（大阪薬科大学）

北村陽二（金沢大学学際科学実験センター）

D-1 15:00 ～ 15:15

VEGFR2 に対する抗体を用いた腫瘍イメージング

吉川 舞¹、向 洋平¹、伴野由季¹、金井泰和²、渡部浩司²、角田慎一³、堤 康央^{1,3}、畑澤 順²、岡田直貴¹、中川晋作¹

(¹大阪大学薬学研究科、²大阪大学医学系研究科、³医薬基盤研究所)

D-2 15:15 ～ 15:30

^{99m}Tc 標識抗体フラグメントの非特異的腎集積を低減する薬剤の開発

鈴木千恵、Syaiful Hudri、上原知也、花岡宏史、荒野 泰

(千葉大院薬)

D-3 15:30 ～ 15:45

実験腫瘍および炎症病態モデルにおけるヨウ素 125 標識ラクトソームの生体内分布

木村光晴¹、大西いぶき¹、山本文彦¹、牧野 顕²、山原 亮³、原 功³、竹内恵理³、小関英一³、栗原研輔⁴、木村俊作⁵、山本由美¹、齋藤陽平¹、大久保恭仁¹

(¹東北薬大、²京大院薬、³島津製作所、⁴京大病院、⁵京大院工)

D-4 15:45 ～ 16:00

PEIT 併用による I-131 標識ラクトソームを用いた内用療法

竹内恵理¹、原 功¹、山原 亮¹、牧野 顕²、栗原研輔³、木村光晴⁴、大西いぶき⁴、山本文彦⁴、大久保恭仁⁴、清水 章⁵、小関英一¹、木村俊作⁶

(¹島津製作所、²京大院薬、³京大病院、⁴東北薬大、⁵京大病院探索医セ、⁶京大院工)

セッション5

座長： 花岡宏史（千葉大学大学院薬学研究院）

牧野 頌（京都大学大学院薬学研究科）

E-1 16:00 ~ 16:15

化学発癌モデルを用いた ^{111}In -DOTA-c(RGDfK)による膵がんイメージング

吉本光喜^{1,2}、早川拓也^{1,3}、津田啓介²、梅田 泉²、藤井博史²、谷中昭典³、若林敬二⁴

(¹ 国立がん研究センター研究所 発がんシステム研究分野、² 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター機能診断開発部、³ 東京理科大学大学院薬学研究科、⁴ 静岡県立大学食品栄養科学部)

E-2 16:15 ~ 16:30

シグマ受容体を標的とした放射性薬剤開発に向けた基礎検討

神原弘弥¹、小川数馬¹、清野 泰²、森 哲也²、柴 和弘³、北村陽二³、小阪孝史³、黄檗達人¹、小谷 明¹

(¹ 金沢大院薬、² 福井大高エネ研、³ 金沢大学際センター)

E-3 16:30 ~ 16:45

A20FMDV2 ペプチドを母体とする $\alpha v\beta 6$ インテグリン標的腫瘍イメージングプローブの開発に関する基礎的検討

福島隆宏¹、上田真史^{1,2}、小川 京¹、小野正博¹、佐治英郎¹

(¹ 京大院薬、² 京大病院 RI)

E-4 16:45 ~ 17:00

腫瘍特異的に発現する酵素 GnT-V を標的とした放射性イメージング剤の開発研究

有光健治¹、木村寛之²、梶本哲也³、天野博夫²、三嶋 睦²、小野正博²、向 高弘⁴、間賀田泰寛⁵、大桃善朗³、野出 學¹、山下正行¹、佐治英郎²

(¹ 京都薬科大学、² 京都大学大学院薬学研究科、³ 大阪薬科大学、⁴ 神戸薬科大学、⁵ 浜松医科大学)